

レジメン名 (治療名)					
CBDCA+nabPTX+ペムブロリズマブ					
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
非小細胞 扁平上皮肺癌	CBDCA+nabPTX +ペムブロリズマブ	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他	
投与 順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)
1	ペムブロリズマブ	200mg/body	点滴静注	30分	Day1
2	アルブミン懸濁型 パクリタキセル【nabPTX】	100mg/m ²	点滴静注	30分	Day1、8、15
3	カルボプラチン【CBDCA】	AUC=6	点滴静注	1時間	Day1
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		3~4週ごと			
総コース数及び総投与量の限界		CBDCA+nabPTX+ペムブロリズマブとして4コース行う。 その後ペムブロリズマブ維持療法を3週ごとに継続する。有害事象出現またはPDまで。			
プレメディケーション ポストメディケーション		パロノセトロン、デキサメタゾン、ファモチジン			
備考		<ul style="list-style-type: none"> 副作用の被疑薬が特定できる場合は、該当薬剤のみ中止して治療継続可能。 <p>BEV 関連事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 禁忌：2.5mL以上の鮮血喀痰既往、脳転移を有するもの BEV投与中の胸部放射線療法は施行しない <p>CBDCA 関連事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 投与量はAUC=6が400mg/m²以上になる場合、400mg/m²×体表面積で計算する。 内服制吐剤は症状に合わせて、アプレピタント投与可能。その際には、day2、3のデキサメタゾンの内服は省略可能。 			

《投与順》

CBDCA+nabPTX+ペムブロリズマブ 4コース

(1)	生理食塩液	50mL	
	パロノセトロン 0.75mg	1A	
	ファモチジン 20mg	1A	
	デキサメタゾン 8mg	1V	30分
(2)	生理食塩液	50mL	5分
(3)	生理食塩液	100mL	
	ペムブロリズマブ	200mg/body	30分
(4)	生理食塩液	50mL	5分
(5)	生理食塩液	100mL	
	アルブミン懸濁型パクリタキセル	100mg/m ²	30分
(6)	生理食塩液	50mL	5分
(7)	5%ブドウ糖液	250mL	
	カルボプラチン	AUC=6	60分
(8)	生理食塩液	50mL	5分

Day8、15

(1)	生理食塩液	100mL	
	ファモチジン 20mg	1A	
	デキサメタゾン 8mg	1V	30分
(2)	生理食塩液	100mL	
	アルブミン懸濁型パクリタキセル	100mg/m ²	30分
(3)	生理食塩液	50mL	5分

維持療法

(1)	生理食塩液	50mL	5分
(2)	生理食塩液	100mL	
	ペムブロリズマブ	200mg/body	30分
(3)	生理食塩液	50mL	5分